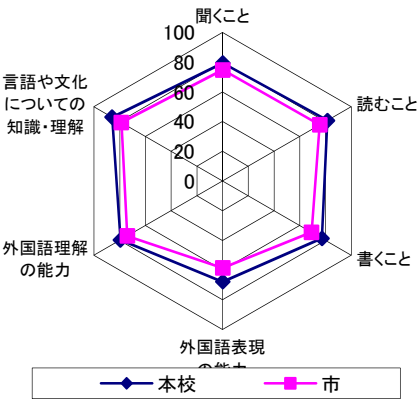


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	79.3	74.8	66.0
	読むこと	81.4	75.5	66.9
	書くこと	77.2	69.1	64.8
観点別	外国語表現の能力	67.9	58.5	53.9
	外国語理解の能力	79.4	74.1	65.7
	言語や文化についての知識・理解	85.9	78.8	71.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率は79.3%と、市の平均を4.5イント上回っている。 ○単純に英文の内容を聞き取り、内容に合った絵や文を選ぶ設問に関しては、正答率が高い。 ●対話の内容を聞き取り、その情報を活用してさらに資料を読み込んで答えを導き出す設問に関しては、市平均を上回るものの、正答率53.8%と通過率が低い。	・聞いたことで得た情報を活用して、問題にある英文やグラフ、表などから必要な情報を読み取るタイプの問題を数多く解いて、答え方に慣れさせたい。
読むこと	平均正答率は81.4%と、市の平均を5.9ポイント上回っている。 ○長文の中で指示代名詞が指す内容を探す設問に関しては93.4%と高い通過率であった。 ●英文と資料の条件・情報をもとに、相手の要望に応じて適切な応答を選ぶ設問と、英文とグラフを合わせて情報を読み取る設問で、正答率が低かった。	・読み取った情報をもとに、さらに追加で与えられる情報を読み取ったり、課題を解決する問題は、非常に様々なタイプのものがある。教科書の読み物教材などで、読み取りの観点などに工夫して、普段の授業の中で課題を解決する力をつけられるよう指導したい。
書くこと	平均正答率は77.2%と、市の平均を8.1ポイント上回っている。 ○単純な語彙や文法の問題では平均が88.6%と高い正答率であった。 ●場面に応じた英文を書く設問では49.6%、自分の経験を3文以上で表現する設問では71.3%であった。	・単純な語彙や文法に関する知識はついていますが、それを必要な場面に応じて活用する力をつけさせる必要がある。そのためには数多くの英文を使った自己表現活動を多く取り入れたい。場面設定に関して、学年ごとの学習事項に対応した段階的な指導計画をつくり、特に会話表現は教科書に登場する時期だけでなく、繰り返し学習し定着させたい。